

実証目的

LINE上でのAIボットを活用した観光客の
利便性向上と観光客行動分析データの取得

事業概要

1. LINEアプリ上での対話形式で操作可能な施設情報提供AIボットアプリを構築、観光客の利便性を高め、六甲山上の活性化に繋げる。
2. 混雑緩和・駅員の負担軽減、情報発信を行うとともに、観光行動分析データを取得する。将来的には六甲山スマートシティ構想とのデータ連携も想定。

解決する課題

1. 山上での周遊は様々なプランが考えられるため、観光客自身で最適な周遊プランを探すことは難しい。現在は六甲ケーブル下駅にて駅員が観光客一人一人の目的を聞き、適した周遊チケットを勧めている。
2. 施設情報や施設のリアルタイム情報のデジタル化が不十分なため、現地に行かないと知ることができない情報が多い。
3. 観光客のニーズや新規とリピーターの割合を把握することは難しい。時期ごとにユーザーのニーズに適した催事などを提供し、新規・リピーターを獲得する。

先駆性・独自性

1. AIチャットボットを活用した周遊プランの推薦; AIチャットボットを活用することで、観光客には、対話形式な使いやすい操作性を提供できる。施設運営者には、窓口の混雑や対面での接客機会の軽減を実現し、感染症対策としての効果を提供できる。
2. LINEアプリ上での機能提供: 多くの観光客や市民が慣れ親しんだLINEアプリ上で「AIチャットボットを活用した周遊プランの推薦」機能や「施設情報のデジタル配信」機能を提供することで、利用者のアプリ利用に関する学習コストの提言を図り、実際に使われるアプリを構築することができる。

実証内容

